

八潮(埼玉県)、
蓼科(長野県)、須
賀川と長沼(いずれ
も福島県)に工場を
もつ有力コイルセン
ターの根津
鋼材。製造
部門を統括
する根津孝
明取締役製
造本部長
写真は、
常に「第三
者の目」で
自拠点を客
観視するこ
とを心掛け
てかれこれ

根津孝明製造本部長

根津鋼材



“お客の目”で工場視察

「5Sと対話の励行」促す

で工場周辺を歩く。いか…。
出入りするトラック 工場内も隅から隅
の動きはどうか、近 まで見回る。危険な
隣の人たちはどうい 個所や改善余地はな
う目で工場をみてい いか、長期滞留在庫
るのか…。事務所に は溜まっていない
入る際も、社員通用 か、作業者の顔色は

目立つ。

しかし、大切なのは「5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)とコミュニケーションなんですよ」と。

製造現場にとつて、この基本をしっかり守ることが不良(クレーム)撲滅と労災ゼロにつながる、と確信する。「私は毎日チェックできない。だから個々の現場レベルで一人ひとりが自覚し、決して怠らないようにしてほしいんです」と心から願う。

数年になると言う。役目柄、各事業所を定期的に視察するが、その門をタクシードで乗り入れることはない。必ず手前で降り、いわば“訪問客”になっただつもり

口ではなくあえて表 どうか…。「元気が？
玄関から入ること 体調はどうだ？」
で、カウンター越し と声をかけることを
に「お客様の目線 忘れたい。
で」ぐるっと見渡 自動化・システム
す。デスクの上が整 化やITの駆使など
然としているか、窓 コイルセンターにも
ガラスは汚れていな 近代的な設備導入が